

# “ふじのくに”士民協働事業レビュー結果①

(健康福祉部)

事業番号	3	事業名	保育対策等促進事業費助成
------	---	-----	--------------

## 1 基本情報

実施日／班名	9月7日 第1班	時間	13:20~14:34
担当課名	こども未来課	事業費	1,892,300 千円

## 2 レビューの結果① 施策を推進する効果の程度

結果	一定の効果がある	判定区分	県民評価者の内訳	
			大きな効果がある	7
			一定の効果がある	20
			あまり効果がない	1

## 3 県民評価者の意見

### (1)見直し・改善策

目的・指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P29 4 事業の主たる成果指標←的がずれている!?</li> <li>・成果指標の内容の検討。</li> <li>・成果指標の前年比の算出の仕方は、再検討した方がいいのでは?→前年何人が出生し、何人だから増した、減ったと記載すべき。数字のマジックにならないように。</li> </ul>
対象・範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策が市町主体のため、県としての指導を強化すべき。</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育を実施している所は身近にたくさんあると思いますが、病児病後保育を実施している所は少ないので、近場でみてもらえる施設をもっと増やしてもらいたい。保育士の確保が大切。</li> <li>・事業番号2（緊急子育て支援事業費助成）に「大きな効果がある」と判定したが、事業番号3（保育対策等促進事業費助成）に入れて1つの事業として考えたほうが、コストが下がると思う。</li> <li>・事業番号2（緊急子育て支援事業費助成）は、この事業に含まれるべきではないか。</li> <li>・延長保育は助かっていると思うので、所得は関係ナシで良い。</li> <li>・延長保育に関しては現状を更に前進させるようにしてほしい。又、急に1~2時間残業になった時もスポットで対応できる体制も作れたらと思います。発熱するとただちに家族が子供を迎えに行かねばならないので、サービスを拡充してほしい。</li> <li>・特別な保育への支援に関しては、ニーズのズレはもちろん個々の状況の違いによって差が出る。保育士の確保や設備の充実など、経費のかかる所だと思うが、助成するということだと、十分な事が出来るようにしてもらおう方が良い。</li> <li>・補助メニューに関し、何に重点を置くのか明確にすると良い。</li> <li>・子育てに対する配慮のできている企業への補助は引き続き検討していただきたい。</li> <li>・病後児等は必要と思うが、資格者雇用が必要となり、どの程度介入出来るか。</li> <li>・保育士の確保や待遇改善をして、より手厚くしていただきたい。</li> <li>・病児・病後児の保育の空白域を早急になくす。</li> </ul>

## 事業内容

- ・電子システム導入時、しっかりしたソフトを組んで、どんなニーズがあるかが分析出来るような、発掘できるようなソフトを開発してほしい。
- ・保育士がむずかしい地域での、保育ママ重点化を県はしっかり支援していくべき。
- ・保育士の待遇改善が必要なので、その点に重点的に予算を配分したほうが良い。
- ・グループ型小規模保育の補助対象となる条件を緩和した方が良い。
- ・「事業番号2（緊急子育て支援事業費助成）」を含め、「待機児童ゼロ」に向け努力願います。保育はハードとソフトの両面の補完が必要。
- ・各事業の実施状況をもっと詳細にまとめて検証する。
- ・マーケティングをしっかり行い、ニーズ・現状を的確に把握する。
- ・事業（P38）をしぼって実施する。
- ・病児保育については、近隣の病院と連携していくなど、工夫が必要。（病気の蔓延等を防ぐため）
- ・やはりもう少し施策をしっかり具体的に見直し、取組んで欲しい。
- ・やっていることは良いと思いますが、もっと拡充しても良いかなと思います。多様な働き方が増える中で、延長保育や休日保育等のニーズはさらに増えていくと思うので、もっと拡充していけば大きな効果も見込める事業かなど。このためにニーズの把握をさらに丁寧にやること、保育士の確保（労働環境の改善も含め）も必要。また、保育を増やすなど、そういった面でも対応も必要。
- ・延長保育時間が30分としているが、実情は1時間が5%あり、財源との問題もあるかと思うが検討すべきと思う。延長保育のニーズに合ったものを考えるべきではないか。
- ・民間事業所の現状把握にもう少し積極的に取組むべき。
- ・保育ママ。住民からは利便性も含め需要はあるようですが、ママの待遇改善をどう考えるか。ボランティア精神だけを求めては問題。
- ・地域のニーズをどうリサーチするかが重要。→取り方を間違えると、子育て家庭が必要だと思っていない事にお金が使われてしまいます。
- ・手段・手法が4項目で良いのかの再検討をすることをおすすめします。→これだけでは支援にならない。
- ・事業（対策）を実施しても子育て家庭に負担があると利用しないのではないかと思うので、効果が得られる事業内容にして欲しいです。
- ・子育て事業支援と重なる面が多々あるように思いますが、働く母親は保育の延長時間を望んでいる。延長保育の方法を活用すべき。
- ・延長保育促進について、質疑を聞いていると、県は市町のニーズを把握しないで、このまま事業を続けていくのはどうか。見直しをしてから対策を進めてほしい。
- ・病児、病後児保育サービスはニーズが高いので、拡大してほしい。
- ・P38の表の中で、一番上の延長保育促進事業と、下から二番目の保育士確保事業が二重投資に思える。しかも全体18億円のうち約14億円を占めていることが気になった。

## (2)その他の意見

- ・女性の社会進出、共働き世帯の増加等就業形態の多様化、ひとり親などの増加で多様な保育形態が求められるので、これからも大いに支援をしていく必要がある。
- ・女性が仕事をしていくためには、病児保育・延長保育はかせないものだと思います。
- ・保育ママによる事故が以前あったと思うので、それによる信用問題はないのか。
- ・現状は預けたくても条件が見合わないために保育依頼をあきらめている場面が多いのではないかと。これが隠れ待機児童の増加につながっているのではないかと。
- ・ワーク・アンド・ライフのバランスとも関連づけて検討すべき。
- ・延長保育の利用価値がどの程度必要かが分からない。

- 予算の事ばかりですが、現場からの意見はどうなのでしょう。保母さんも又、同じ仕事を持ち家庭がある女性なので、思いを知りたいと思う。(少しでも良い方法)
- 延長保育、病児、病後児保育 etc 特別な保育への支援は今後よりニーズが強くなりそうだが、その要請に応える上で必要なのは、各市町でどれ位の要請があるのか、具体的な数字を把握した上で、どう実施していくのかのデータを集める必要があるのでは。職員の方々のご多忙で、データ集めができていくの由、であるならば、各市町の行政に関わる人々の協力を得て、実施(データ集め)してはいかがなものか。医療関係機関との連携などは、どうなっているのか?(増収につながる何らかの方法など) 財源の点ではどうなのか? もっと詳しく言及していただきたいかった。
- ニーズは多様化する。(理由 TPP、開発途上国の進展、非正規労働者比率アップでビジネスモデルも変化し、それに伴い労務形態が変化する。それによってニーズもいろいろなものになる) これらに対応しないと労働力確保と安心確保につながらない。就而ニーズ把握と対応案をどんどんやって欲しい。
- P28 2 経費内訳←の内容を詳しく知りたい。(例) 延長保育、1人/hで〇,000円補助等 試算式及び積算内容を知りたい。
- P28 電子システム構築の必要性が分からない。なぜ必要なのか?
- 事業番号2と3の内容(まとめ方)が交錯、重複していて分かりづらい。
- 基金が余っているので、『むりやり使う感』が否めない。
- 延長保育において施設側の補助単価を上げてほしいのか(施設側)、延長時間を伸ばしてほしいのか(利用者側)。←ニーズがつかめない。
- 補助を受ける為の申請手続きの大変さを心配いたします。事務手続等、役所的にならないよう希みます。
- 保育所にあずける人も大変ですが、保母さんは長い時間携わり、その保母さん達の家庭、子供さん達はどのようにしているのか考えさせられます。
- 色々法的なこともあると思うが、県独自の発想で大胆な事が必要と思う。人件費の面でも、もっと考慮してほしい。
- 新規事業として保育士の確保が課題となっているが、保育士確保事業人数、待遇改善としているが、民間と公営の格差はどの位か具体的な数値を出せての事業費か。
- 仕事と子育ての両立支援の一環だとは思いますが、まだ他にも問題があると思います。